

東日本 大地震災から1年

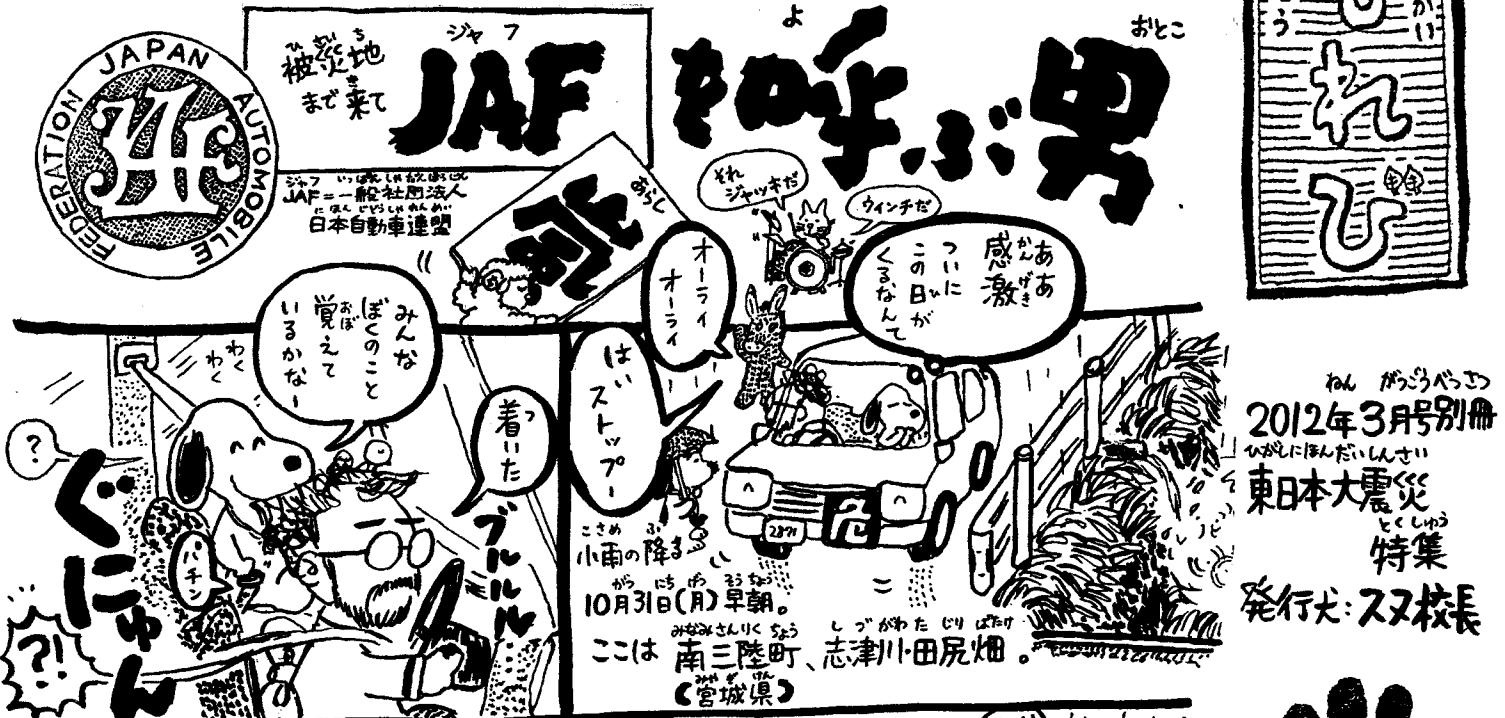
かす
忘れないで

まだ続く避難生活

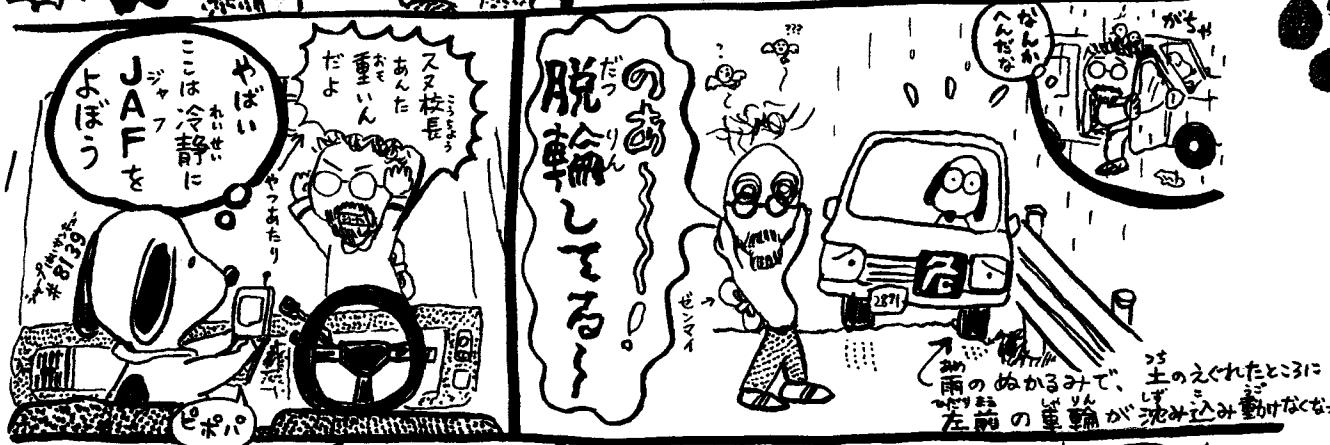


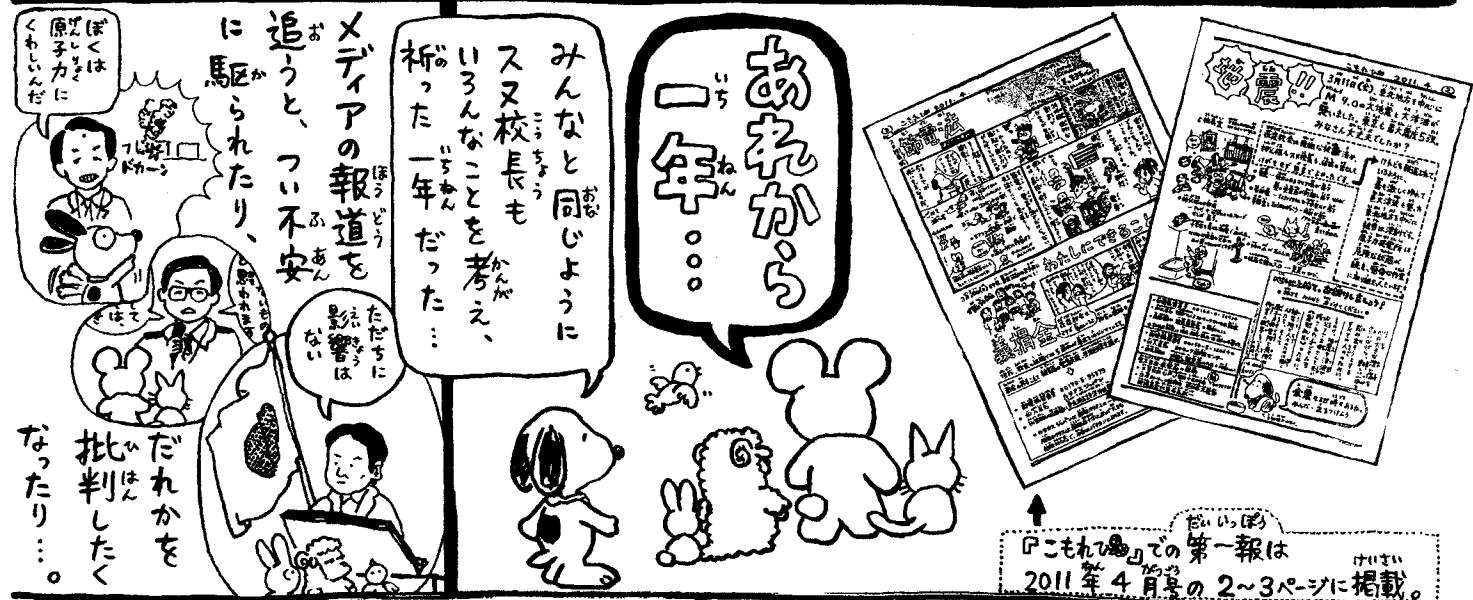
この別冊は、昨年秋にスヌ校長一行(2ページ)が宮城県南三陸町を
再訪したレポートとして、12月号別冊として発行する予定だったのですが、
締切に間に合わず、お蔵入りになっていた原稿を編集し直したものです。
内容に時間差があります。ごめんなさいね。 スヌ校長

又校長

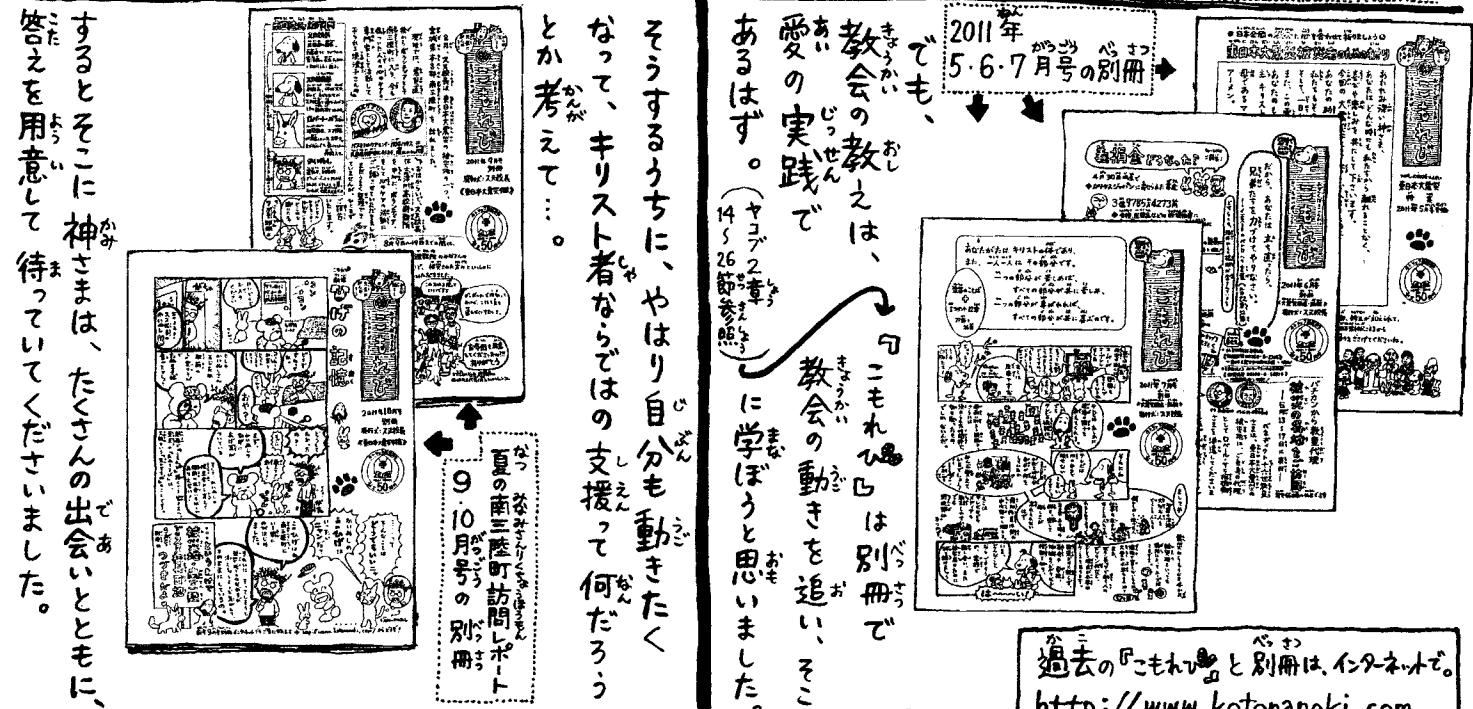


ねん がとうべつ
2012年3月号別冊
ひがしにほんだいじゅ
東日本大震災
とくしきゅう
特集
発行犬:スヌ校長

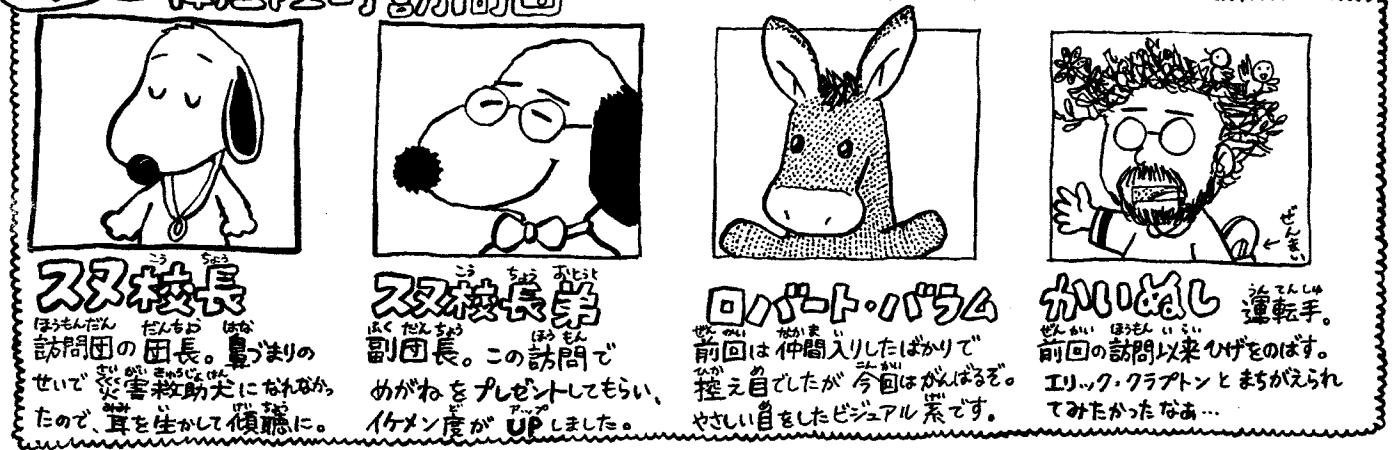
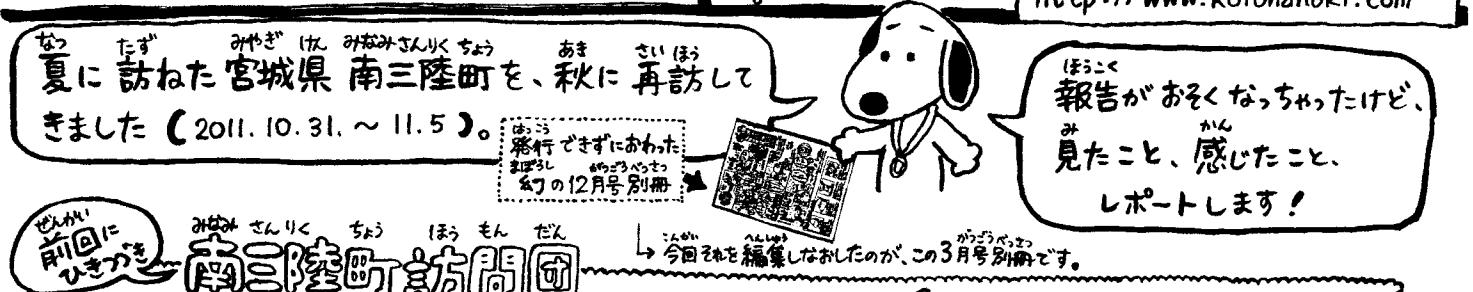


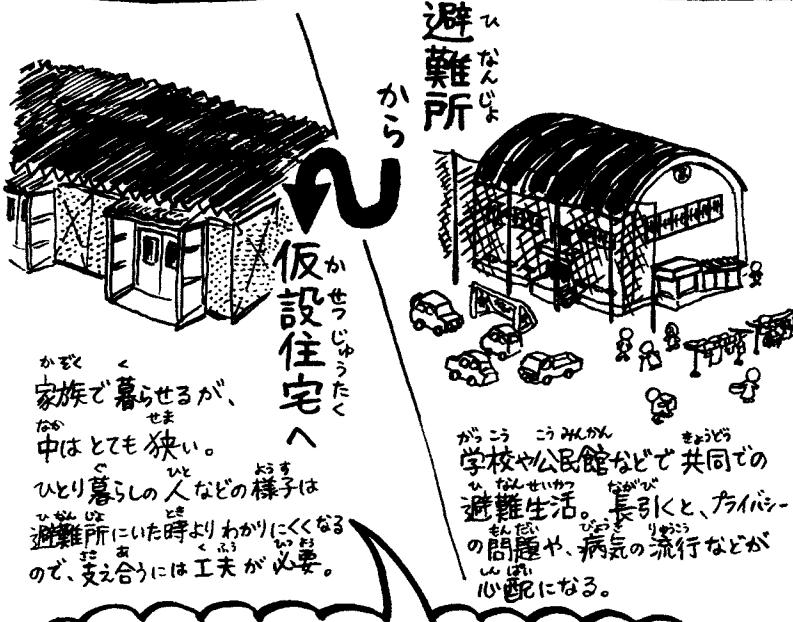


『こもれび』での第一報は
2011年4月号の2~3ページに掲載。



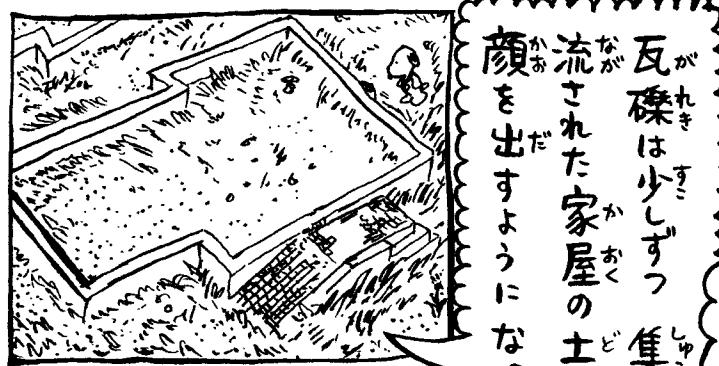
過去の『こもれび』と別冊は、インターネット。
<http://www.kotonanoki.com>





南三陸町の人たちのための仮設住宅は町内・町外
59か所に分散して建てられました。

小さなところでは 6~7戸の集まりです。
大きなところだと 246戸もの家が集中しています。
規模の差が大きすぎて、全体をうまく支援することは、なかなかむずかしいようです。



住宅には買い物のや
仕事に便利なところもあれば、とても不便なところもひとくりにはできません。

社協の臨時職員(…たしか)
貧困に避難所でお世話になった

個別訪問で巡回中に、スヌ校長の天敵(?)ちからちゃんと鉢合わせ。
スヌ校長をみると必ず「お風呂に入れ」「洗濯機に入れちゃうぞ」と言ふんだ。

スヌ校長の

被災地訪問

夏にスヌ校長一行が訪ねた宮城県南三陸町。東日本大震災の中でも津波被害が最も大きかった町の一つです。八月にお世話に避難所をはじめ、町の避難所はすべて閉鎖されています。

59か所の応急仮設住宅に暮らしています。

スヌ校長 夏の被災地訪問は
『こもれひ』9月号別冊と10月号別冊で特集。
<http://www.kotonanoki.com/>

これまで避難所で把握できていた問題
(病気・孤独・悩み・不自由・その他)も、

仮設住宅入居後は、こちらから訪問しなければ

捨えないことがあります。

町の社協(=社会福祉協議会)スタッフやボランティア・グループが訪ねて回ります。
仮設住宅それぞれの自治会もがんばっています。



みかわさんりくちゅう
南三陸町
し づ ば わ

志津川・田尻畠のHUGハウス

ある日の夕食の様子。一買いで調達をするけれど、支援者が送ってきた食料、支援物資だった保存食品、地元の方がくださる旬の食材、ボランティアの持参する食品などが、食卓を彩る。いちばんおいしそうにたべてるのはだれかなー(?)

ロバートバム
スヌーピー長老
堤澄子代表(通称ハグちゃん)
ニたつ魔芋
アラさん
和ちゃん
ジンさん
スイーくん
スヌーピー校長
テーブル席
ハルさん

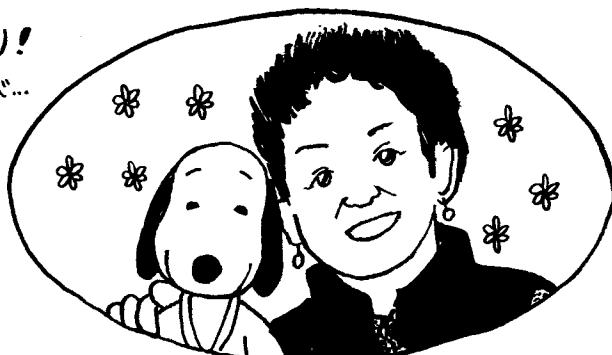


こもれひでも何度か紹介した、心と魂のケアを専門的に提供する

パストラルセセンター



今回もお世話をばりまじた
HUGハウス
避難所閉鎖の後も
被災地にとどまり、
南三陸町では志津川に常設の
タジリ食堂を開き、
オーブンしたほか、
南三陸町を再訪した
スヌーピー校長一行を、
夏に引き続き、あたたかく受け入れてください
ました。
そして、今回
訪問ケアも継続中。



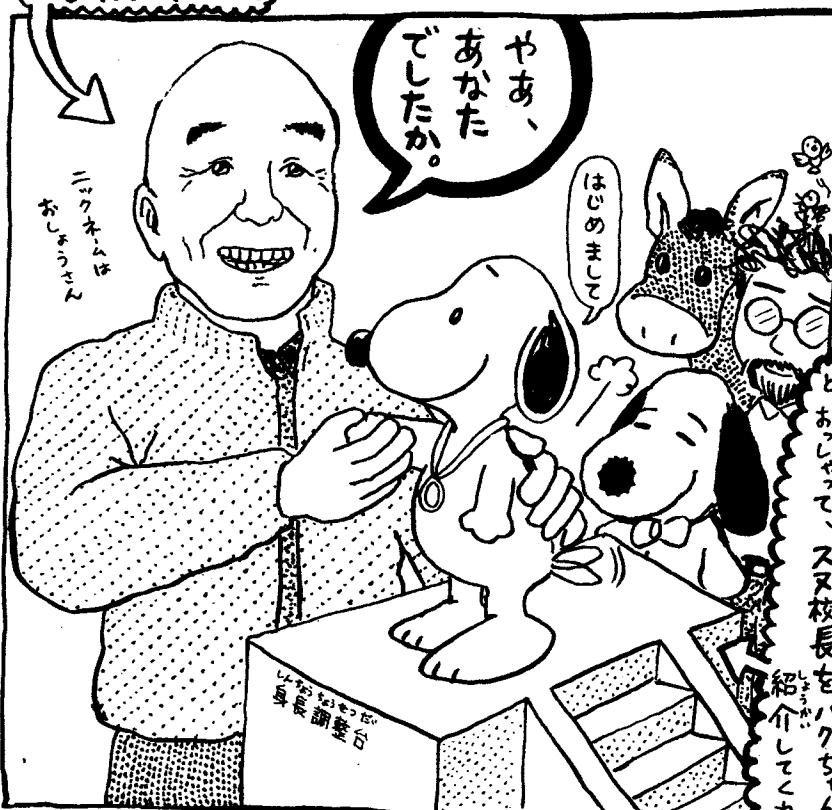
パストラルケアセンター
HUGハウスの代表 堤澄子さんと。
(ハグちゃん)

<http://p-c-hughouse.jimdo.com>
ご支援よろしくね

郵便振替 00920-6-103934
加入者名 パストラルケアセンター-HUGハウス
通信欄に 東日本大震災 傾聴ボランティア支援

めぐみさんはハグちゃんとともに南三陸町に在住で、心のケアの活動に従事しています。

スヌ校长が着いたその日の朝に、タイミングよくお目にかかることができた。
宇根節さん。実はハグちゃんのダシナサ。やはりハストラルケアセントルHUGのハグの



いちいん じきさい いはと
一員で、震災以降ずっと
釜石ベース（岩手県の
釜石教会内）を拠点に
被災者の心のケアを
続けておられます。

うれしに再会ひと

スヌ校长を
南三陸町と
結びつけて
くれた恩人ですが、お会いするのは初めて。
6月にスヌ校长がお電話してみたとき、
南三陸町に行ってくれる人が少ないんだ
とおしゃって、スヌ校长をハグちゃんに
紹介してくれた。



お久しぶりですスイトーさん。
仙台からバイクで現れ、ちよちよく
ボランティアを務める。その正体は
大学院生でところがまだかっこいい。

こちら 防寒対策作業のひとこま

あらさんは横浜から何度か
ボランティアに来ています。でも、
スヌ校长とは初めて。6ページの
バイクをみてね！
ととても仲よくなりました。



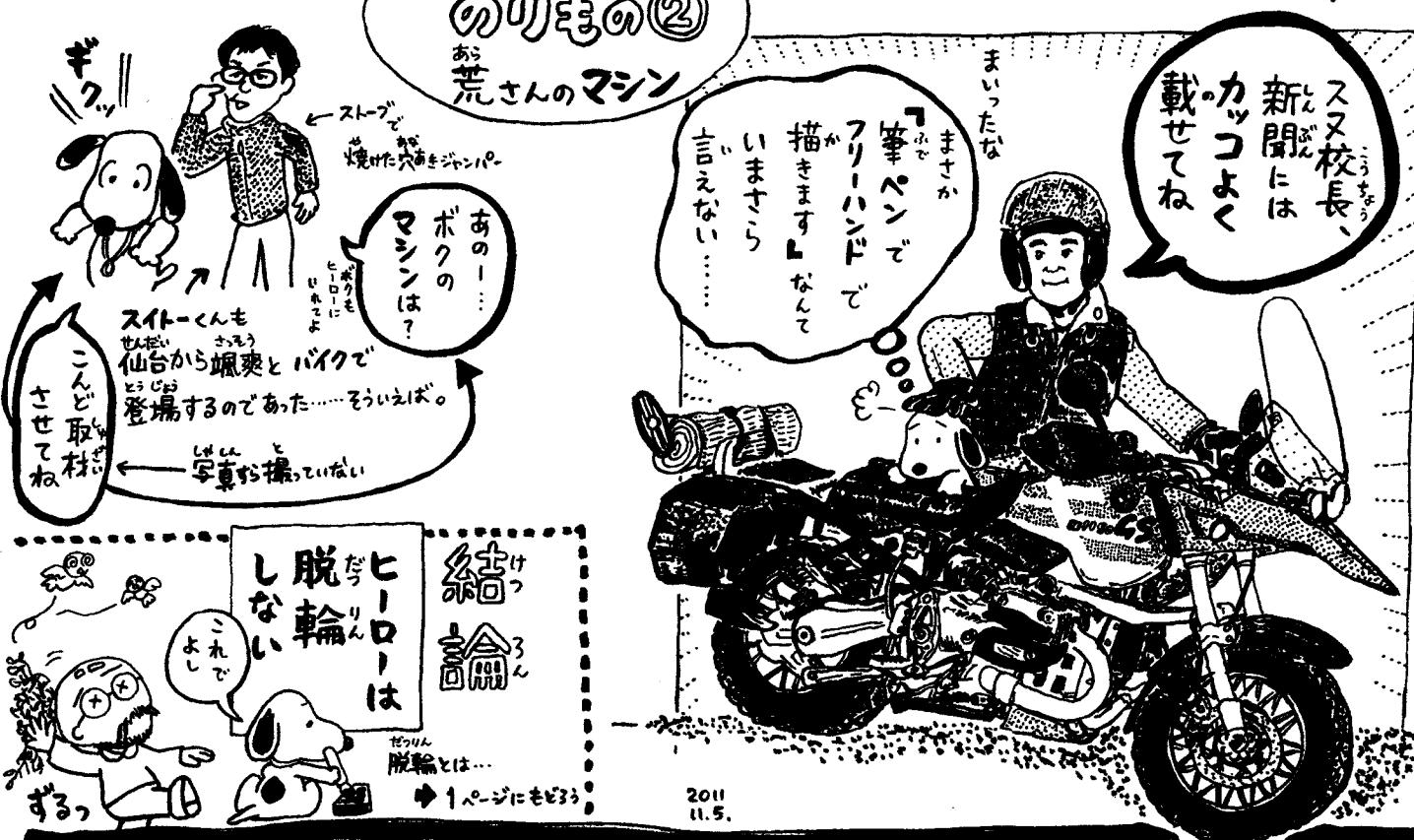
今回がはじまして、のちゅさん。
長期滞在だからちゅさん、らしい。
らしい。さまざまなニーズに応えて
働くすごい人ですが、おだやかな笑顔
と関西弁でみんなをなごませてます

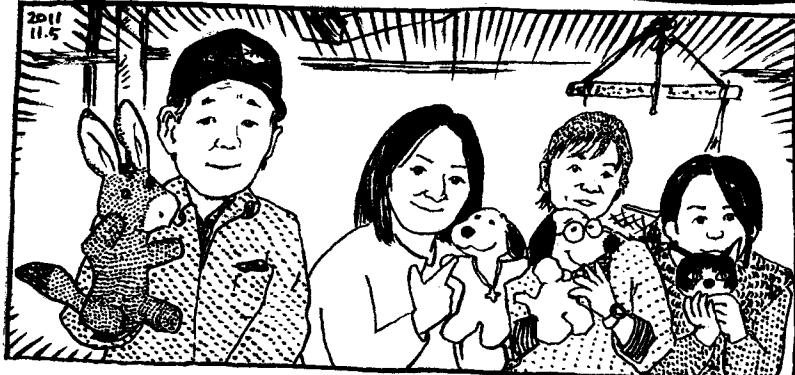
和ちゃんとは夏のボランティア以来の再会。
被災地のこと、子どもたちのこと、ケアファル心香のことを中心には
かけてくれます。今回は、横浜の鉄工所でストーブを
手作りして持ってきてくれたり、そこにくべる薪を運んできて
くれました。そしてなんと、感性豊かな詩人でもあるのだ

壁に断熱マットをあてて、その上から板を打ちつけているところ。

☆のりもの☆

のりものが欠かせません。しかもかっこよく乗りこなさないと、かいぬしみたいになっちゃうのだ。

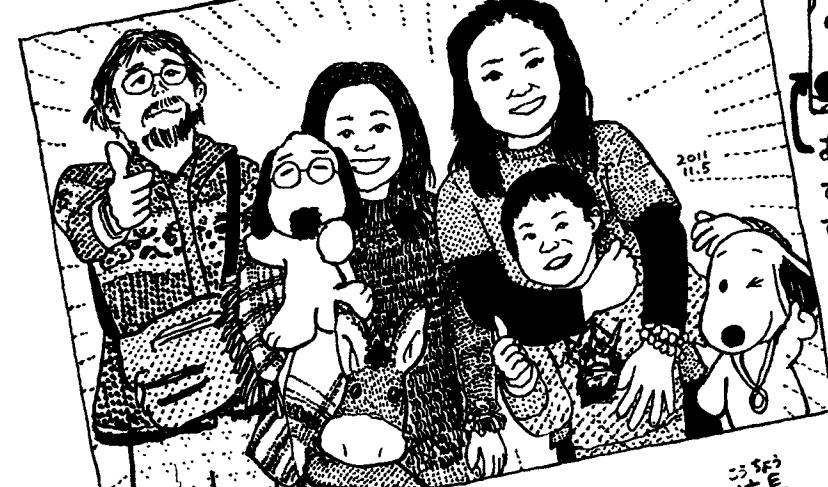




内田さんご夫妻、お元気そうでよかったです。8月の避難所でお目にかかったときと変わらぬ笑顔。ケアフェル香のベンチにて。

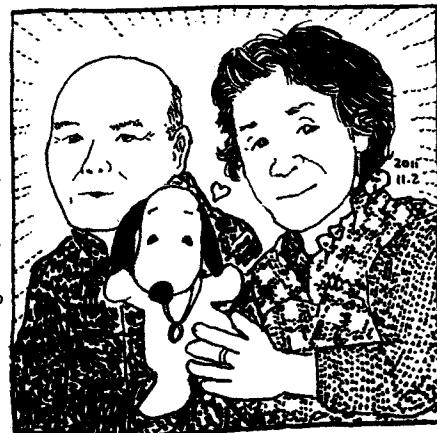


あさひよちえんの運動会、保護者参加競技で順番を待つ緊張のアベちゃん。今回はお話しできる機会がなかったのが残念だったな… で、こちらは運動会の応援団としてかけつけました。運動会については9ページをみてね！



ジンさん
スヌ校長第
ロバート
ハルさん
アキミさん
リクくん
スヌ校長

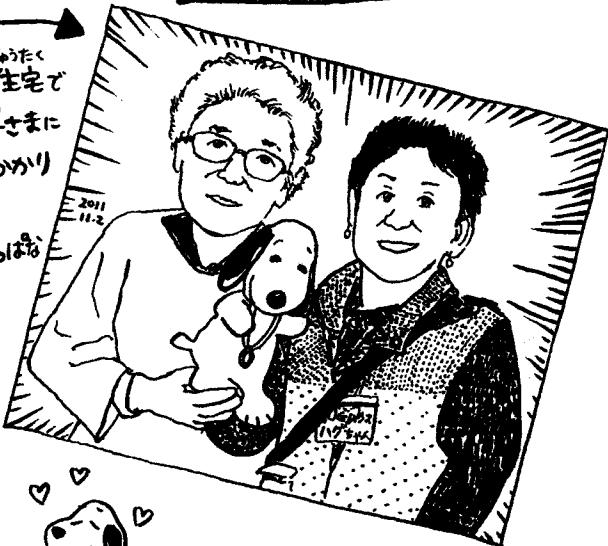
夏に志津川高校避難所でスヌ校長も寝泊まりさせていただいたときのお隣さん。再会の瞬間、「スヌ校長～～！」と言って抱きしめてくれて、うれしかったなー。



志津川の「おもちゃ図書館」OB会員の応援団
鈴木清美さん（左）と。

「おもちゃ図書館」は、障害のある子どもたちも一緒に楽しくおもちゃで遊び、家族どうしも交流する活動で、全国各地にあります。志津川の「おもちゃ図書館」OB会員も、力強く活動再開。町が復興に向けて動き出します。

南方の仮設住宅でジンさんのお母さまにはじめてお目にかかりました。震災後ずっと走り回るしのジンさんを心配してらしゃるすきなお母さまです。



アルバム
また行きたい

ナニカノボルト

地震と津波の被災者

こうちょう おせうと
スヌ校長 第

たとえば津波の来ば
かつた入谷地区。
なみ

しばらくすると、
あらゆるものが不足

避難所が中心で、自宅でメディアの注目も、やはり△

そういえば、震火直後の、報道で“大変だ大変だ”とさわいでいた頃は、むしろ被災者も冷静だったのに。でも“被災地は元気です”みたいな扱いが主流になった時こそ、かえて支援が必要なんだ、という被災者の声をききましたね。

2011
11.1



ハグちゃんといっしょに
お出でになりました。
訪ねたのが十一月一日。
四日後にひらかれる
うんどうかいで使う
電子ピアノをお届けに。



ପ୍ରକାଶକ
ବିଭାଗ

じょうどお弁当の
時間で、子どもたちは

夏が明けてから、
代わりの園舎として
公民館の建物を
使わせてもらつて、
ようやく幼稚園らしい
いぢいろなことが
できるようになつた
といいます。

園舎も使えなくなり
小学校の片隅をお借り
しての幼稚園生活が
しばらく続きました。

あお
多く“か
町外
に避
難

訪問ケニア

寝込んでいまし
た。かかりつけの

出合ったおばあちゃん。
お医者さんも、

震災前は畠仕事

もして、お茶っこ

家族や気の合う仲間と
すこすこひとときも樂し

めたのに、たくさん

の辛い思いをした

から体調をくずして

めたのに、たくさん

の辛い思いをした

から体調をくずして

めたのに、たくさん

の辛い思いをした

から体調をくずして

ボランティアの力を

借りながら続く

瓦礫の片づけ。

仕事を失った

町の人たちにとって

収入を得て

仕事のできる機会

であります。

仕事がなじむという
声をきいたね。



ジュンさんはカメラ、イラスト、113人アートから日曜大工、最新の電子機器、なんでもこなせちゃう。おまけに博覧強記なのでみんながハカセと呼ぶほどです。

2011.
12.20.
ビビエ
と
ジュンさん



番外編

南三陸
空港
会
in
東京

2011.
11.12.
秋は
ハルさんと
志津川高校避難所ボランティアリーダー、
秋はケアカフェのスタッフをしていました。



スヌ校長のいる教会ってどんな所だらう
といつて
秋は
教会まで来てくれたハルさん。

ジュンさん東京訪問!ってことで、8月にボランティア一緒にいたビビエ
こと石丸由紀子さんと羽田空港へ。ちなみにジュンさんは車で来ました。)

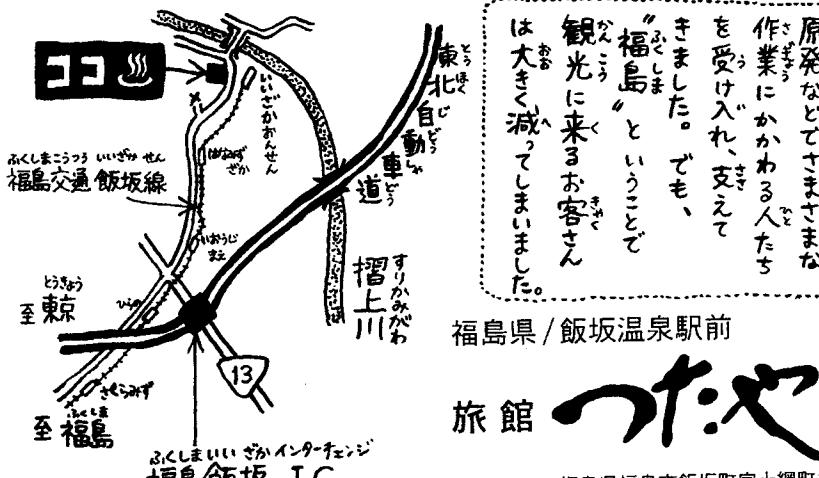
ビビエさんは、スヌ校長よりひと足先に秋の南三陸を再訪したのだ

ところまで、
スヌ校長は
東京に戻る
途中で、福島
にある温泉旅館を
訪ねることになつて
いました。

そのことをみんなに
話したところ……

はな
お土産に
持つたら
いくうちを
おお
持ってけ





旅館 つたえ

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字十綱町2
TEL(024)542-3164(代)
FAX(024)542-3165



パストラルケアセンターHUGハウスのホームページが新しくなりました。⇒ <http://p-c-hughouse.jimdo.com>
南三陸町での活動はケアカフェCOCO～心香のブログを見てね。⇒ <http://p-c-hughouse.blogspot.com>

カトリック荻窪教会 〒168-0072 杉並区高井戸東4-18-13
TEL 03-3334-8216 (FAX-8261)
主任司祭 岸忠雄神父 主日のミサ 7:30~/10:00~
毎月第1・第2・第3日曜
10時のミサ終了後
<http://www.kotonanoki.com/>

